

委員会レポート

行財政委員会

行財政委員会に付託された議案は12件。

9月11日に総務部・建設部所管分の審査を行いました。

9月14日に市民生活部・健康福祉部・教育部所管分の審査を行いました。

総務部・建設部
付託議案

◆議案第49号について

問 地方創生臨時交付金は、交付限度額まで申請したか。

答 今回の補正で達する。

問 プレミアム付商品券事業等のコロナ対策事業不用品は、他のコロナ対策事業に回せるのか。

答 コロナ対策事業で現在約4億7千万円だが、交付限度額は約3億6千万円なので、1億円ほど不足している。
対策事業費内で流用は可能。

総務部・建設部
所管質問

問 コロナ禍での避難所運営訓練は。

答 愛知県主催の「避難所における感染症防止対策研修」に市職員約40人が参加。



▲感染症防止対策研修

問 体温測定を庁舎1階正面玄関で行っているが、他の入口からの来庁者を誘導しないのか。2階庁舎入口はしばらく閉鎖しないのか。

答 あくまでも個人の体調管理の目安。入口を制限すると来庁者へ不便をかける。案内表示をして対応する。

問 J・R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業の覚書締結前に、市民の声を聞くためにアンケートの実施を考えては。

答 費用対効果の分析を進める中で、市民アンケートを実施する予定だが、是非を確認する内容は考えていない。

問 県道弥富名古屋線の進捗状況と、今後の工事予定は。

答 今年度は擁壁工事と一部の道路を施工予定。来年度は事後経過計測期間として最長300日を経た後、残りの擁壁工事を予定。令和4年度末の供用開始を目標。



▶工事中の県道弥富名古屋線（又八地内）

決算審査
総務部

問 令和2年弥富市議会議員一般選挙の投票率が約50%であり、毎回投票率が下がっているが、市の見解と、今後の投票率を上げる努力は。

答 保育所や小中学校の献立表に選挙日時を記載するなど、子どもを持つ親世帯へのPRを行った。今後、明るい選挙推進協議会で啓発事業について検討する。



問 経常収支比率が年々増加している理由は。来年度予算編成に向けての考えは。

答 後期高齢者に対する療養給付費や、介護保険給付費給付金の増加などが大きい。

な要因。企業立地指定企業交付奨励金の交付により、企業誘致を推進し、将来の税収増加を図っている。

問 実質単年度収支額がマイナスで計上されているが、市の見解は。

答 マイナスが毎年続くと財政調整基金が減少していく。大きな事業を実施すれば一時的にマイナスになるのはやむを得ないと思う。

問 公共下水道事業の市債残高が増加すると考えられる。今後のこの事業の進め方は。

答 令和8年度以降は、事業費を縮小する検討をしており、市債残高は減少する予定。

問 普通財産の約3290㎡減少分は何か。またそれによる財産収入はいくらか。

答 名古屋第三環状線の用地として先行取得した土地を県に売却した。財産収入は約2億6700万円。



問 市税収納に関して今後の課題と対策は。

答 コロナの影響でしばらくは減収傾向が続くと見込まれる。財産調査による税を負担する能力の見極めが重要。

問 広報誌が効果的な発信手段であるという根拠は。

答 市からの情報発信ツールの中では、様々な年代の方に広く読んでいただけるものとして、最も効果的な手段だと考える。